



なかしん

中小企業景況レポート

No.36 中栄信用金庫 地域支援部

2020年7月～9月実績と2020年10月～12月見込み

◆調査概要

調査時期 2020年9月上旬
調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数 341社
回答企業数 325社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	93	89	95.6
卸売業	28	28	100.0
小売・飲食業	63	61	96.8
サービス業	57	52	91.2
建設業	63	60	95.2
不動産業	37	35	94.5
合計	341	325	95.3

◆7月～9月期の概況

～景況感は持ち直しとなるも、先行きへの警戒感は強い～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は ▲41.6 を示し、前回調査（2020年4～6月期）に比べ 13.9 ポイントの改善となりました。

緊急事態宣言の解除に伴い、小売・飲食業での客足の回復や介護事業所における稼働率の改善に加え、建設業では中断していた工事を再開する動きが見受けられることから、景況感は製造業以外の5業種において持ち直しの動きがみられます。しかし製造業では取引先の生産調整や工場稼働停止の影響を受け、週休3日制にて対応する動きもみられ、今後の需要動向への不安視や感染再拡大への警戒感から、業況判断 D.I. は過去2番目に低い値となっております。

さらに特別調査では新型コロナウイルスの影響に伴い、例年の7～9月期と比較して約半数の企業が売上減少となる中、政府による支援策などを活用し約7割の企業が雇用の維持・増加に努めると回答するほか、新しい生活様式に対応した事業活動を模索する動きがみられることから、経営環境は依然として厳しい状況となっております。

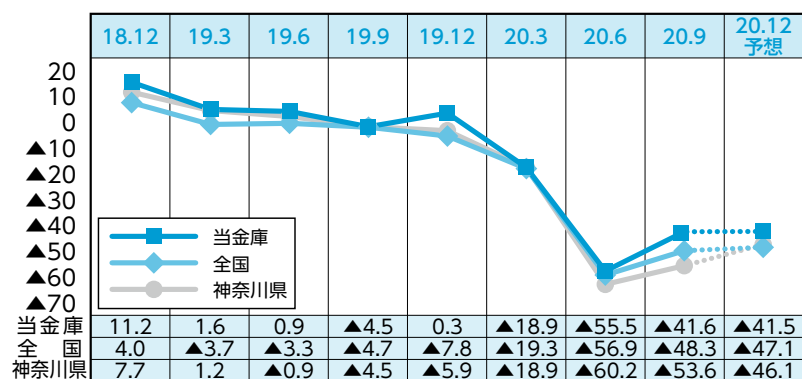
項目別にみると、売上額実績 D.I. は 38.6 ポイント大幅改善の ▲22.5、収益実績 D.I. は 32.8 ポイント大幅改善の ▲27.1 となっております。また、仕入価格 D.I. は 2.7 ポイント上昇の 8.1、人手過不足 D.I. は 6.1 ポイント不足感が強まり ▲11.2、資金繰り D.I. は 21.6 ポイント改善の ▲17.9 となっております。また業種別の景況感は、卸売業が 43.0 ポイント大幅改善の ▲25.0、不動産業が 32.1 ポイント大幅改善の ▲5.7、建設業が 21.0 ポイント改善の ▲15.0、サービス業が 16.6 ポイント改善の ▲64.7、小売・飲食業が 15.2 ポイント改善の ▲47.5、製造業が 7.9 ポイント悪化の ▲61.8 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は 8.6 ポイント改善の ▲48.3、神奈川県内については 6.6 ポイント改善の ▲53.6 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆10月～12月期の見通し

来期の業況判断予想は、ほぼ横ばいの ▲41.5、売上額 D.I. は 8.6 ポイント改善の ▲13.9、収益 D.I. は 9.8 ポイント改善の ▲17.3 の予想となっております。

業況判断 D.I. 値（全業種）



全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前 期	今 期	予 想
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
良い 悪い

製造業

概況

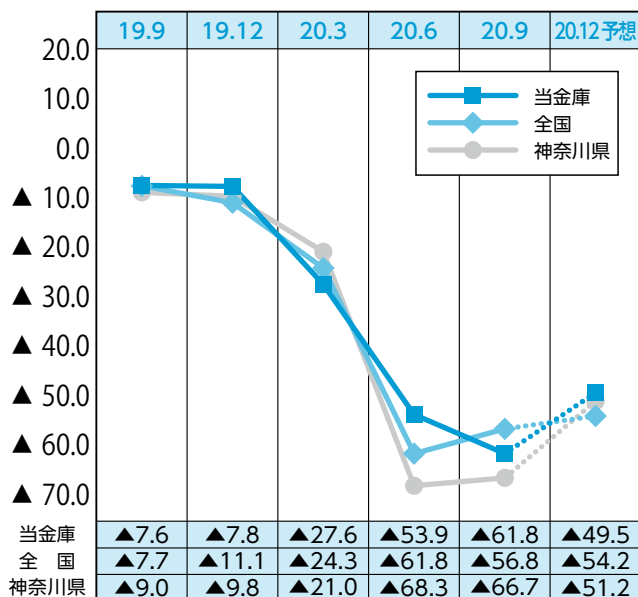
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 7.9 ポイント悪化の▲61.8 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 17.6 ポイント改善の▲40.4、収益 D.I. は 13.0 ポイント改善の▲42.7 となっております。

生産活動の再開により一部の自動車部品関連では受注の回復がみられたものの、取引先の生産調整や工場稼働の停止を受け、週休 3 日制を余儀なくされる企業も見受けられることから、景況感は 7 期連続の悪化となっております。また今後の需要動向が見通せない中、設備投資を先送りする動きもみられるほか、対面での商談を断られオンライン商談を活用するなど営業方法を見直す動きもみられます。

なお、全国は 5.0 ポイント改善の▲56.8 となっており、神奈川県は 1.6 ポイント小幅改善の▲66.7 となっております。

来期の予想業況判断については、12.3 ポイント改善の▲49.5 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	9.0	24.0	67.0	D.I. ▲58.0
当期実績	20.2	19.2	60.6	▲40.4
来期予想	39.7	28.5	31.8	7.9
前年同期比	12.3	-9.1	78.6	▲66.3

販売価格

前期実績	1.1	93.3	5.6	D.I. ▲4.5
当期実績	4.4	87.8	7.8	▲3.4
来期予想	2.2	91.0	6.8	▲4.6

在庫

前期実績	11.3	85.3	3.4	D.I. 7.9
当期実績	15.7	81.0	3.3	12.4
来期予想	-10.2	86.4	3.4	6.8

人手

前期実績	27.2	62.6	10.2	D.I. 17.0
当期実績	39.7	50.1	10.2	29.5
来期予想	32.5	54.1	13.4	19.1

収益

前期実績	9.0	26.3	64.7	D.I. ▲55.7
当期実績	16.8	23.7	59.5	▲42.7
来期予想	30.6	41.0	28.4	2.2
前年同期比	11.2	12.4	76.4	▲65.2

原材料価格

前期実績	3.4	95.5	1.1	D.I. 2.3
当期実績	-10.1	86.6	3.3	6.8
来期予想	7.9	91.0	1.1	6.8

資金繰り

前期実績	9.0	50.1	40.9	D.I. ▲31.9
当期実績	7.8	57.4	34.8	▲27.0
来期予想	12.5	56.9	30.6	▲18.1

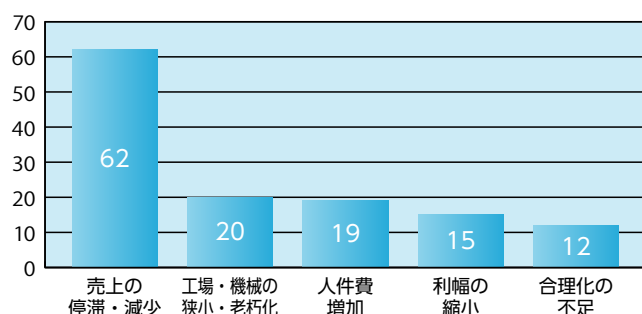
設備状況

前期実績	11.3	68.3	20.4	D.I. ▲9.1
当期実績	20.4	69.4	10.2	10.2
来期予想	16.2	73.4	10.4	5.8

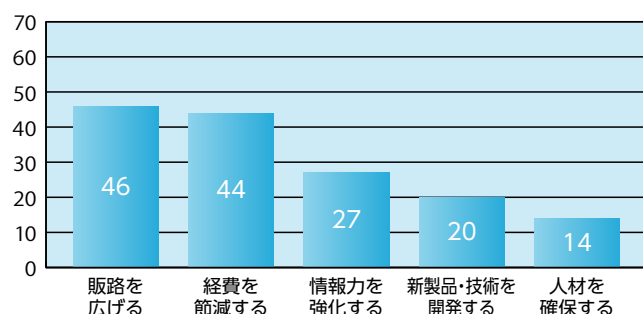
当期実績…2020年 7～9月期
来期予想…2020年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



卸売業

概況

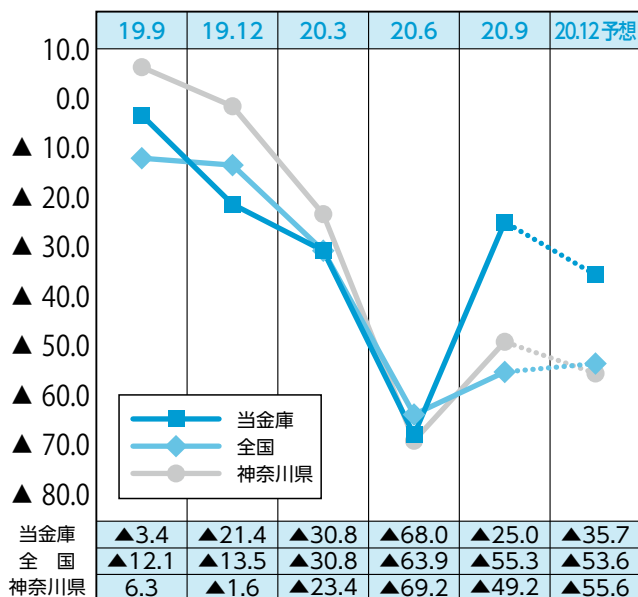
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 43.0 ポイント大幅改善の▲25.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 59.3 ポイント大幅改善の▲21.5、収益 D.I. は 41.1 ポイント大幅改善の▲35.8 となっております。

これは飲食店における客足の回復により、食品卸では持ち直しの動きがみられるほか、建材卸においても新型コロナウイルスの影響により中断していた建設工事が徐々に再開したことから、売上額・収益 D.I. は改善となり、景況感は 1 年ぶりに改善となっております。しかし経済活動は再開したものの、約 4 割の企業が業況横ばいとしていることから、新たな取引先の獲得に努める動きや新商品の開発を行う動きもみられます。

なお、全国は 8.6 ポイント改善の▲55.3 となっており、神奈川県は 20.0 ポイント改善の▲49.2 となっております。

来期の予想業況判断については、10.7 ポイント悪化の▲35.7 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	▲3.8	▲11.6	84.6	D.I. ▲80.8
当期実績	28.5	21.5	50.0	▲21.5
来期予想	▲10.7	39.3	50.0	▲39.3
前年同期比	17.8	21.5	60.7	▲42.9

販売価格

前期実績	84.7	15.3	D.I. ▲15.3
当期実績	▲3.5	89.4	7.1 ▲3.6
来期予想	▲3.5	89.4	7.1 ▲3.6

在庫

前期実績	12.0	64.0	24.0	D.I. ▲12.0
当期実績	25.0	75.0	25.0	
来期予想	18.5	81.5	18.5	

人手

前期実績	19.2	61.6	19.2	D.I. 0.0
当期実績	▲3.7	63.0	33.3	▲29.6
来期予想	▲3.7	74.1	22.2	▲18.5

収益

前期実績	▲3.8	▲15.5	80.7	D.I. ▲76.9
当期実績	14.2	35.8	50.0	▲35.8
来期予想	▲10.7	39.3	50.0	▲39.3
前年同期比	▲10.7	32.2	57.1	▲46.4

仕入価格

前期実績	16.0	76.0	8.0	D.I. 8.0
当期実績	11.1	81.5	7.4	3.7
来期予想	▲7.4	88.9	3.7	3.7

資金繰り

前期実績	▲3.8	46.2	50.0	D.I. ▲46.2
当期実績	17.8	64.4	17.8	0.0
来期予想	21.4	50.1	28.5	▲7.1

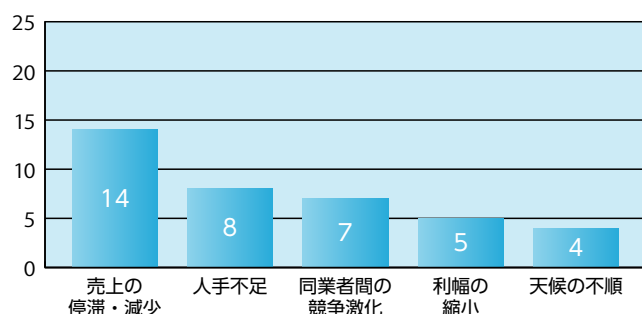
設備状況

前期実績	84.0	16.0	D.I. ▲16.0
当期実績	▲4.0	84.0	12.0 ▲8.0
来期予想	▲4.3	87.1	8.6 ▲4.3

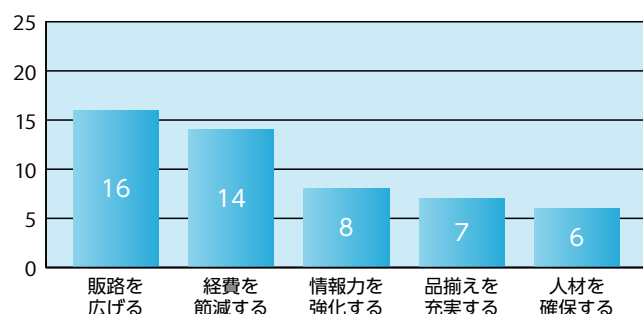
当期実績…2020 年 7～ 9 月期
来期予想…2020 年 10～ 12 月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

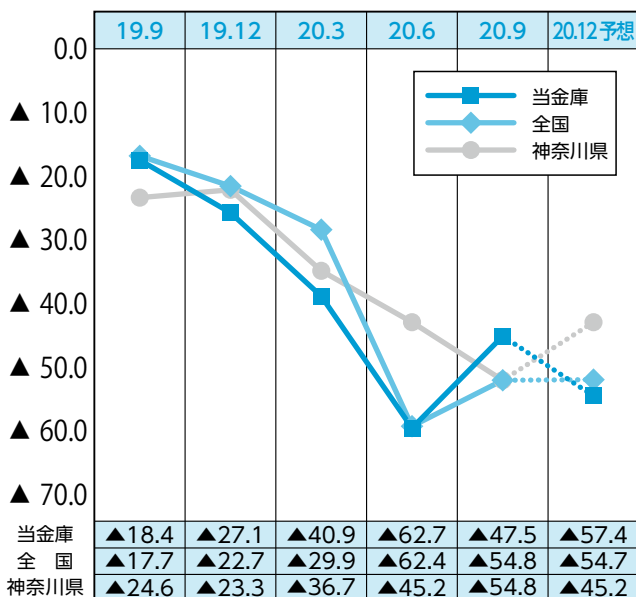
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 15.2 ポイント改善の▲47.5 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 60.9 ポイント大幅改善の▲9.8、収益 D.I. は 50.9 ポイント大幅改善の▲18.0 となっております。

緊急事態宣言の解除に伴い飲食店を中心に客足が戻りつつあるものの、団体客の利用減少や客席数を減らした営業により、約7割の企業が昨年同時期と比べて売上減少に至っていることから、景況感はマイナス域で推移しております。また今後については、忘年会などの宴会需要の動向が懸念される中、新たな顧客獲得に向けメニュー開発に取り組む動きや行政による需要喚起策の効果を期待する企業も見受けられます。

なお、全国は 7.6 ポイント改善の▲54.8 となっており、神奈川県は 9.6 ポイント悪化の▲54.8 となっております。

来期の予想業況判断については、9.9 ポイント悪化の▲57.4 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	8.6	12.1	79.3	D.I. ▲70.7
当期実績	37.7	14.8	47.5	▲9.8
来期予想	21.3	34.5	44.2	▲22.9
前年同期比	18.0	6.6	75.4	▲57.4

販売価格

前期実績	6.8	70.8	22.4	D.I. ▲15.6
当期実績	16.3	70.6	13.1	3.2
来期予想	11.6	75.1	13.3	▲1.7

在庫

前期実績	17.2	72.5	10.3	D.I. 6.9
当期実績	14.7	80.4	4.9	9.8
来期予想	13.3	83.4	3.3	10.0

人手

前期実績	8.6	70.8	20.6	D.I. ▲12.0
当期実績	9.8	54.2	36.0	▲26.2
来期予想	8.1	54.2	37.7	▲29.6

収益

前期実績	8.6	13.9	77.5	D.I. ▲68.9
当期実績	31.1	19.8	49.1	▲18.0
来期予想	18.0	36.1	45.9	▲27.9
前年同期比	14.7	9.9	75.4	▲60.7

仕入価格

前期実績	15.5	72.5	12.0	D.I. 3.5
当期実績	21.3	67.3	11.4	9.9
来期予想	15.0	75.0	10.0	5.0

資金繰り

前期実績	3.4	38.0	58.6	D.I. ▲55.2
当期実績	13.1	47.6	39.3	▲26.2
来期予想	11.6	48.4	40.0	▲28.4

設備状況

前期実績	3.4	84.6	12.0	D.I. ▲8.6
当期実績	4.9	83.7	11.4	▲6.5
来期予想	3.3	85.1	11.6	▲8.3

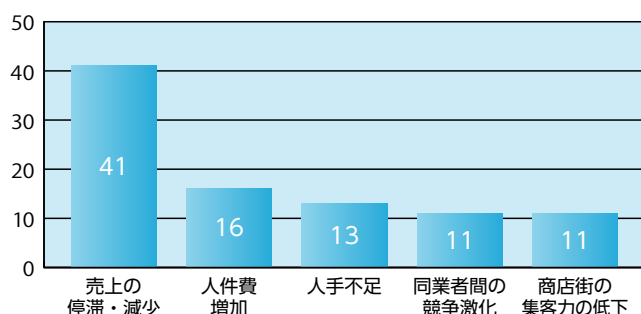
当期実績…2020年 7～ 9月期
来期予想…2020年10～12月期

□ 良い、増加、上昇
過剰、楽

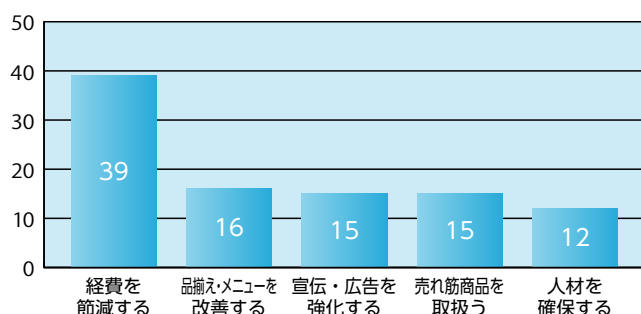
□ 普通、変わらず
適正

□ 悪い、減少、下降
不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

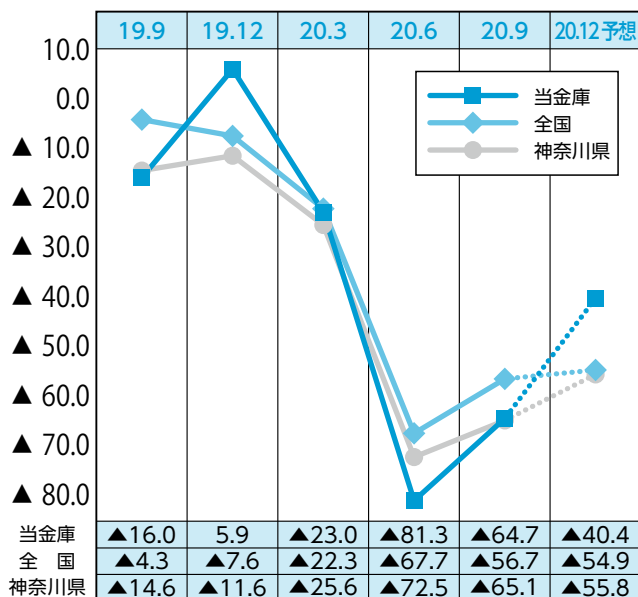
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 16.6 ポイント改善の▲64.7となりました。項目別では、売上額 D.I. は 61.7 ポイント大幅改善の▲19.6、収益 D.I. は 55.8 ポイント大幅改善の▲25.5 となっております。

外出自粛の緩和に伴い、旅館業やタクシー事業では売上に底打ち感がみられるほか、介護事業所においても稼働率の改善が見受けられるものの、感染再拡大の影響を不安視する企業が多いことから、景況感は小幅な改善となり依然として低水準となっております。また一部の介護事業所では生活インフラとしての機能を維持するため、検温の徹底やソーシャルディスタンスの確保等、感染防止対策を強化したうえで事業の回復を図る動きもみられます。

なお、全国は 11.0 ポイント改善の▲56.7 となっており、神奈川県は 7.4 ポイント改善の▲65.1 となっております。

来期の予想業況判断については、24.3 ポイント改善の▲40.4 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	6.2	6.3	87.5	D.I. ▲81.3
当期実績	31.3	17.8	50.9	▲19.6
来期予想	33.3	35.4	31.3	2.0
前年同期比	19.6	11.8	68.6	▲49.0

料金価格

前期実績	4.2	85.2	10.6	D.I. ▲6.4
当期実績	6.0	86.0	8.0	▲2.0
来期予想		92.2	7.8	▲7.8

資金繰り

前期実績	2.0	27.2	70.8	D.I. ▲68.8
当期実績	5.8	57.0	37.2	▲31.4
来期予想	5.7	61.7	32.6	▲26.9

設備状況

前期実績		85.5	14.5	D.I. ▲14.5
当期実績	5.8	66.8	27.4	▲21.6
来期予想	5.7	73.2	21.1	▲15.4

収益

前期実績	6.2	6.3	87.5	D.I. ▲81.3
当期実績	25.4	23.7	50.9	▲25.5
来期予想	29.4	35.4	35.2	▲5.8
前年同期比	13.7	13.8	72.5	▲58.8

材料価格

前期実績	14.5	77.2	8.3	D.I. 6.2
当期実績	20.4	75.6	4.0	16.4
来期予想	14.0	82.0	4.0	10.0

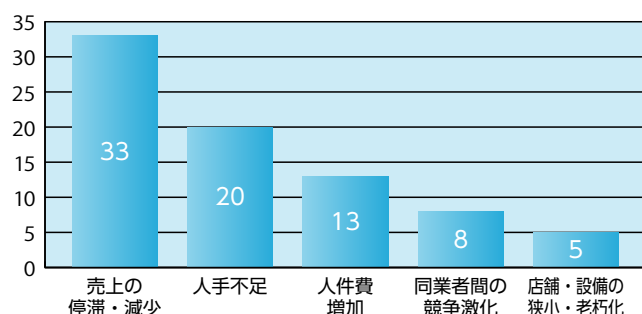
人手

前期実績	20.8	52.2	27.0	D.I. ▲6.2
当期実績	9.8	56.9	33.3	▲23.5
来期予想	7.6	55.9	36.5	▲28.9

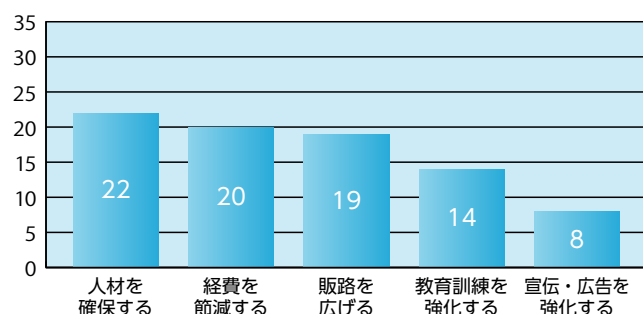
当期実績…2020年 7～ 9月期
来期予想…2020年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

概況

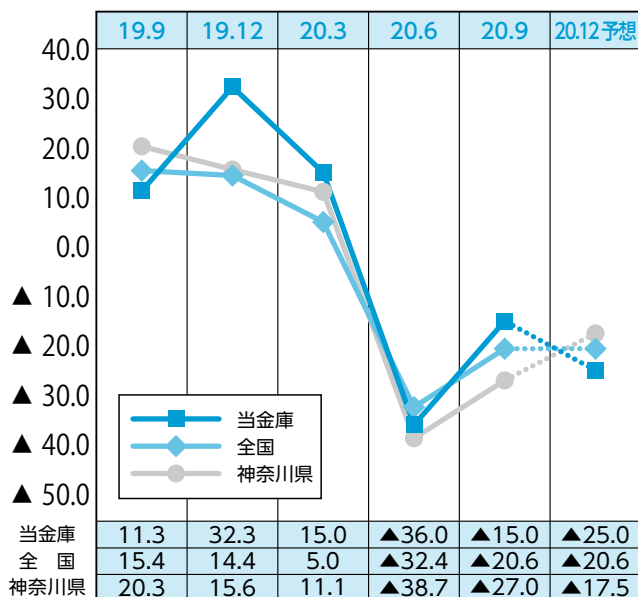
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 21.0 ポイント改善の▲15.0 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 30.2 ポイント改善の▲15.0、収益 D.I. は 28.5 ポイント改善の▲16.7 となっております。

新型コロナウイルスの影響に伴い中断していた工事が本格的に再開となるほか、一部では換気設備工事の受注が増加する企業も見受けられることから、景況感は改善となっております。また経営上の問題点として人材確保、下請けの確保難を挙げる企業が増加していることから、休工により生じた工期遅れを取り戻すための労務費や外注費などの増加が懸念されます。

全国は 11.8 ポイント改善の▲20.6 となっており、神奈川県は 11.7 ポイント改善の▲27.0 となっております。

来期の予想業況判断については、10.0 ポイント悪化の▲25.0 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	▲6.4	42.0	51.6	D.I. ▲45.2
当期実績	23.3	38.4	38.3	▲15.0
来期予想	18.3	41.7	40.0	▲21.7
前年同期比	13.3	35.1	51.6	▲38.3

請負価格

前期実績	▲1.6	72.6	25.8	D.I. ▲24.2
当期実績	▲6.6	73.4	20.0	▲13.4
来期予想	▲6.6	73.4	20.0	▲13.4

在庫

前期実績	▲3.2	87.2	9.6	D.I. ▲6.4
当期実績	▲6.6	88.4	5.0	1.6
来期予想	▲5.0	88.4	6.6	▲1.6

人手

前期実績	▲6.5	60.8	32.7	D.I. ▲26.2
当期実績	▲5.0	58.4	36.6	▲31.6
来期予想	▲3.3	57.8	38.9	▲35.6

収益

前期実績	▲6.4	42.0	51.6	D.I. ▲45.2
当期実績	18.3	46.7	35.0	▲16.7
来期予想	15.0	48.4	36.6	▲21.6
前年同期比	11.6	38.4	50.0	▲38.4

材料価格

前期実績	19.3	74.3	6.4	D.I. 12.9
当期実績	18.3	78.4	3.3	15.0
来期予想	▲10.0	86.7	3.3	6.7

資金繰り

前期実績	12.9	58.1	29.0	D.I. ▲16.1
当期実績	16.6	68.4	15.0	1.6
来期予想	16.6	70.1	13.3	3.3

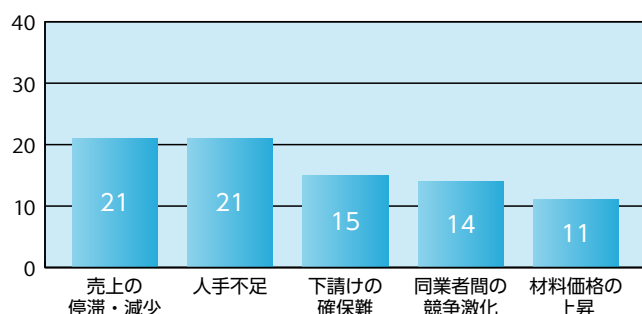
設備状況

前期実績	88.4 11.6			D.I. ▲11.6
当期実績	1.7 94.9 3.4			▲1.7
来期予想	1.7 93.2 5.1			▲3.4

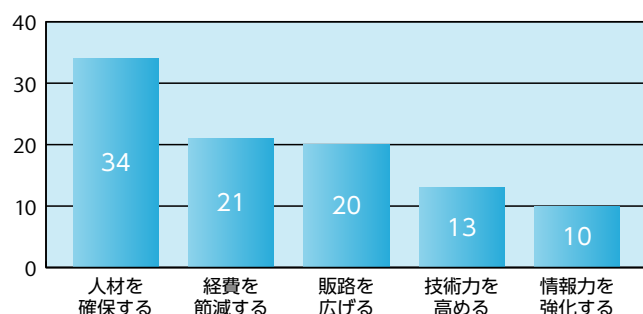
当期実績…2020年 7～ 9月期
来期予想…2020年10～ 12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

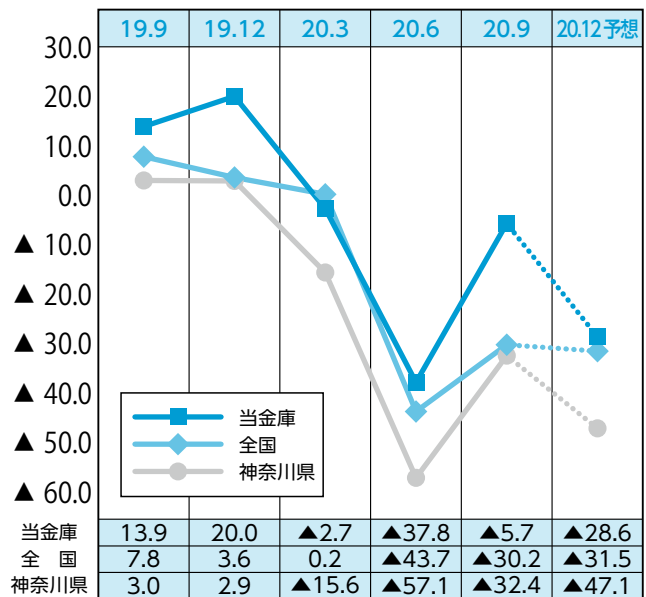
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 32.1 ポイント大幅改善の▲5.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 23.4 ポイント改善の▲17.1、収益 D.I. は 23.3 ポイント改善の▲17.2 となっております。

緊急事態宣言の解除に伴う営業活動の再開により、一部では商品の販売に動きがみられたことから景況感は改善となる一方、今後については、国内消費の不振や休業、自粛に伴う給与の減少等を背景とした住宅の購買意欲の低下を懸念する企業が多く見受けられます。また一部企業においては、企業のテレワーク導入の動きに起因した都心から郊外への住宅需要を取り込む動きもみられます。

全国は 13.5 ポイント改善の▲30.2 となっており、神奈川県は 24.7 ポイント改善の▲32.4 となっております。

来期の予想業況判断については、22.9 ポイント悪化の▲28.6 となっております。

業況判断 D.I. 値



売上額

前期実績	▲10.8	37.9	51.3	D.I. ▲40.5
当期実績	25.7	31.5	42.8	▲17.1
来期予想	▲2.8	51.5	45.7	▲42.9
前年同期比	31.4	25.8	42.8	▲11.4

販売価格

前期実績	73.0	27.0	D.I. ▲27.0
当期実績	▲5.7	71.5	22.8 ▲17.1
来期予想	71.5	28.5	▲28.5

在庫

前期実績	▲5.4	51.4	43.2	D.I. ▲37.8
当期実績	▲5.7	48.6	45.7	▲40.0
来期予想	▲8.5	43.0	48.5	▲40.0

人手

前期実績	86.5	13.5	D.I. ▲13.5
当期実績	▲2.8	74.4	22.8 ▲20.0
来期予想	▲2.9	79.5	17.6 ▲14.7

収益

前期実績	▲10.8	37.9	51.3	D.I. ▲40.5
当期実績	22.8	37.2	40.0	▲17.2
来期予想	▲2.8	54.4	42.8	▲40.0
前年同期比	22.8	37.2	40.0	▲17.2

仕入価格

前期実績	5.4	89.2	5.4	D.I. 0.0
当期実績	2.9	82.4	14.7	▲11.8
来期予想		73.6	26.4	▲26.4

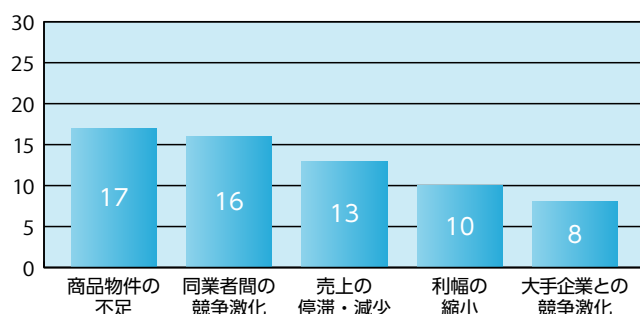
資金繰り

前期実績	70.3	29.7	D.I. ▲29.7
当期実績	▲8.5	74.4	17.1 ▲8.6
来期予想	▲8.5	74.4	17.1 ▲8.6

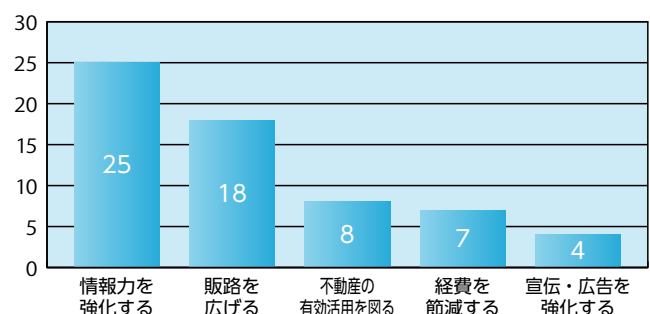
当期実績…2020年 7～ 9月期
来期予想…2020年10～12月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
過剰、楽 適正 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 341 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1. 貴社における今期（7～9月）の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合（例年の7～9月）と比較して、どの程度売上に影響がありましたか。

- | | | | |
|------------------------|------|--------------------------|-------|
| ○ 90%以上の減少 | 0 社 | ○ ほぼ変化なし（10%未満の増減） | 115 社 |
| ○ 70%以上 90%未満の減少 | 8 社 | ○ 10%以上 30%未満の増加 | 27 社 |
| ○ 50%以上 70%未満の減少 | 26 社 | ○ 30%以上の増加 | 2 社 |
| ○ 30%以上 50%未満の減少 | 50 社 | | |
| ○ 10%以上 30%未満の減少 | 94 社 | | |

問 2. 貴社では、売上高がコロナ前の水準に回復する時期を、いつごろと見込んでいますか。

- | | | | |
|---------------------------|-------|------------------|------|
| ○ 現状でコロナ前に到達・上回っている | 31 社 | ○ 2023 年以降 | 21 社 |
| ○ 2020 年中 | 25 社 | ○ 戻ることはない | 10 社 |
| ○ 2021 年中 | 110 社 | ○ わからない | 89 社 |
| ○ 2022 年中 | 35 社 | | |

問 3. 貴社では、今現在、雇用ならびに 1 人当たり支給額（給与、手当、賞与等）に関する方針について、どのようにお考え（予定を含む）ですか。

- | 正規社員 | 非正規社員 |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ○ 雇用、支給額とも維持・増加する | ○ 雇用、支給額とも維持・増加する |
| ○ 雇用は維持・増加するが、支給額を減らす | ○ 雇用は維持・増加するが、支給額を減らす |
| ○ 雇用を減らし、支給額は維持・増加する | ○ 雇用を減らし、支給額は維持・増加する |
| ○ 雇用、支給額とも減らす | ○ 雇用、支給額とも減らす |
| ○ 該当者はいない | ○ 該当者はいない |

問 4. 貴社では、今現在、営業拡大の観点で実施・検討していることはありますか。次の中から 3 つ以内でお答えください。

- | | | | |
|----------------------------|-------|-----------------------------|------|
| ○ 新しい顧客の開拓 | 118 社 | ○ 広告宣伝方法の模索（SNS 活用など） | 55 社 |
| ○ 既存顧客に対するサポートの徹底 | 98 社 | ○ 販売チャネルの模索（配達など） | 21 社 |
| ○ 同業者・外部支援機関等との連携強化 | 63 社 | ○ 生産・販売拠点の拡充 | 18 社 |
| ○ 営業方法の模索（オンライン商談など） | 61 社 | ○ その他 | 6 社 |
| ○ 新商品・サービスの開発 | 59 社 | ○ 実施・検討していない | 74 社 |

問 5. 新型コロナウイルスの終息時期が見通せない中、自治体や金融機関に期待することはありますか。次の中から 3 つ以内でお答えください。

- | | | | |
|-----------------------|-------|----------------------|------|
| ○ 補助金・助成金等の提供 | 223 社 | ○ 国内販路開拓支援 | 43 社 |
| ○ 無利子・低利子融資 | 131 社 | ○ 特になし | 36 社 |
| ○ 需要喚起に向けた経済対策 | 83 社 | ○ IT 導入支援・経費補助 | 26 社 |
| ○ 事業損失への補償金の提供 | 66 社 | ○ 事業承継・M&A 支援 | 10 社 |
| ○ 多様なアイデア・企画の提供 | 46 社 | ○ その他 | 2 社 |

固定資産税・都市計画税の軽減措置のご紹介

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業収入が減少している中小事業者（個人・法人）が保有する建物や設備等の固定資産税・都市計画税（2021 年度分）を軽減するための制度をご紹介します。

＜減免対象＞※いずれも市町村税
事業家屋及び設備等の償却資産に対する固定資産税
事業用家屋に対する都市計画税

2020 年 2 月～10 月までの任意の連続する 3 ヶ月間の収入の対前年同期比減少率	減免率
50%以上減少	全額
30%以上 50%未満	2 分の 1

※賃料を割り引いたり、支払の延期に応じた結果、事業収入が減少した中小事業者も対象です。

※出展「新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ」（経済産業省）を加工（<https://www.meti.go.jp/covid-19/>）

